

## 専攻実習 I

|     |      |       |   |
|-----|------|-------|---|
| 講師名 | 川畑 洋 | 実務経験等 | 農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、乳牛の飼養管理技術(搾乳、給餌、育成、繁殖等)を習得し、酪農経営の総合的な実践力を養うための実習を担当している。 |
|-----|------|-------|---|

| 科目区分      | 学科・経営科   | 必修・選択<br>(必修、自由)区分 | 履修<br>学年 | 開講<br>学期 | 標準<br>時間 | 単位数 |
|-----------|--|--------------------|----------|----------|----------|-----|
| 畜産学科・専門科目 | 畜産・酪農  | 必修                 | 1        | 通年       | 315      | 7   |
| 使用教科書・副教材 | 自作プリント   |                    |          |          |          |     |
| 授業の目的     | 乳牛の飼養管理や搾乳技術の反復習熟と、粗飼料の生産調製技術を習得するとともに、酪農経営の総合的な実践能力を養う。 |                    |          |          |          |     |
| 授業の到達目標   | 乳牛の飼養管理や搾乳技術、粗飼料の生産調製技術を習得し、その意義と正しい手法を理解する。             |                    |          |          |          |     |

| 月             | 学 習 項 目                          | 学 習 事 項   | 時間  | 授業<br>形式 | 備 考<br>(提出物等) |
|---------------|----------------------------------|---|-----|----------|---------------|
| 4月            | 牛の手入れ<br>搾乳作業手順                  | 牛の観察の仕方や保定、安全な誘導方法、搾乳作業手順について学習する                                   | 12  | 実習       |               |
| 5月            | 搾乳技術、飼料給与<br>技術、放牧技術<br>農場HACCP  | 搾乳機器の取扱いや飼料給与、放牧管理・白血病対策について学習する。(搾乳作業開始)農場HACCPの運用の基本について学ぶ        | 24  | 実習       | 親善球技大会        |
| 6月            | 飼料作物、搾乳技<br>術、牛乳の日<br>ICTの活用     | 草地管理、畜舎内外の環境と衛生管理について学ぶ。家畜共進会について理解するICTを活用した農場管理について学ぶ             | 22  | 実習       |               |
| 7月            | 牛体管理<br>暑熱対策                     | 体高・体重測定、ボディコンディションスコア等による牛体の管理と暑熱対策について学ぶ                           | 22  | 実習       |               |
| 8月<br>～<br>9月 | 哺育育成管理<br>施設管理                   | 人工哺乳の仕方、カーフハッチの管理、牛舎内外の環境整備について学習する                                 | 12  | 実習       |               |
| 10月           | 農場HACCP<br>繁殖管理<br>農大祭での学習展<br>示 | 農場HACCP審査に向け、体制を検証し実践力を深める<br>発情観察や直腸検査について学習する<br>半年間の学習成果についてまとめる | 24  | 実習       | 農大祭           |
| 11月           | 削蹄、育成牛・乾乳<br>牛の管理                | 削蹄、耳標付け、育成牛、乾乳牛の飼養管理について学習する<br>先進的な酪農経営について学ぶ                      | 36  | 実習       | 事例研究          |
| 12月           | 牛舎設計<br>卒業研究課題                   | 牛舎設計、卒業研究の進め方について学習する   | 28  | 実習       |               |
| 1月            | ロープワーク<br>卒業研究課題                 | 頭絡の作り方やロープによる牛の保定の方法を学習する。卒業研究計画作成                                  | 12  | 実習       |               |
| 2月            | 飼養管理<br>卒業研究課題                   | 除角の必要性和実施方法について学習する<br>卒業研究計画作成                                     | 14  | 実習       |               |
| 3月            | 飼養管理<br>卒業研究課題                   | 飼養管理全般について理解を深める<br>卒業研究計画発表会                                       | 20  | 実習       |               |
| 5/9～3/31      | 乳牛の飼養管理<br>(当番)                  | 朝夕の家畜飼養管理当番(学生一人当たり年間60日)   | 90  | 実習       |               |
|               |                                  | 合計  | 316 | 時間       |               |

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

実習作業態度、出席状況、提出物の内容、習熟度合を勘案して総合的に評価する。  
評価割合: 習熟度60%、平常点40%

履修に当たっての留意点等

授業は牛舎、搾乳施設及びほ場を主体に行うので、事前に連絡のない限り、つなぎ、帽子、ヘルメット、手袋、長靴を着用し、筆記用具を携帯して臨むこと。また、作業機械や牛の行動に注意し、事故や怪我のないよう留意すること。